

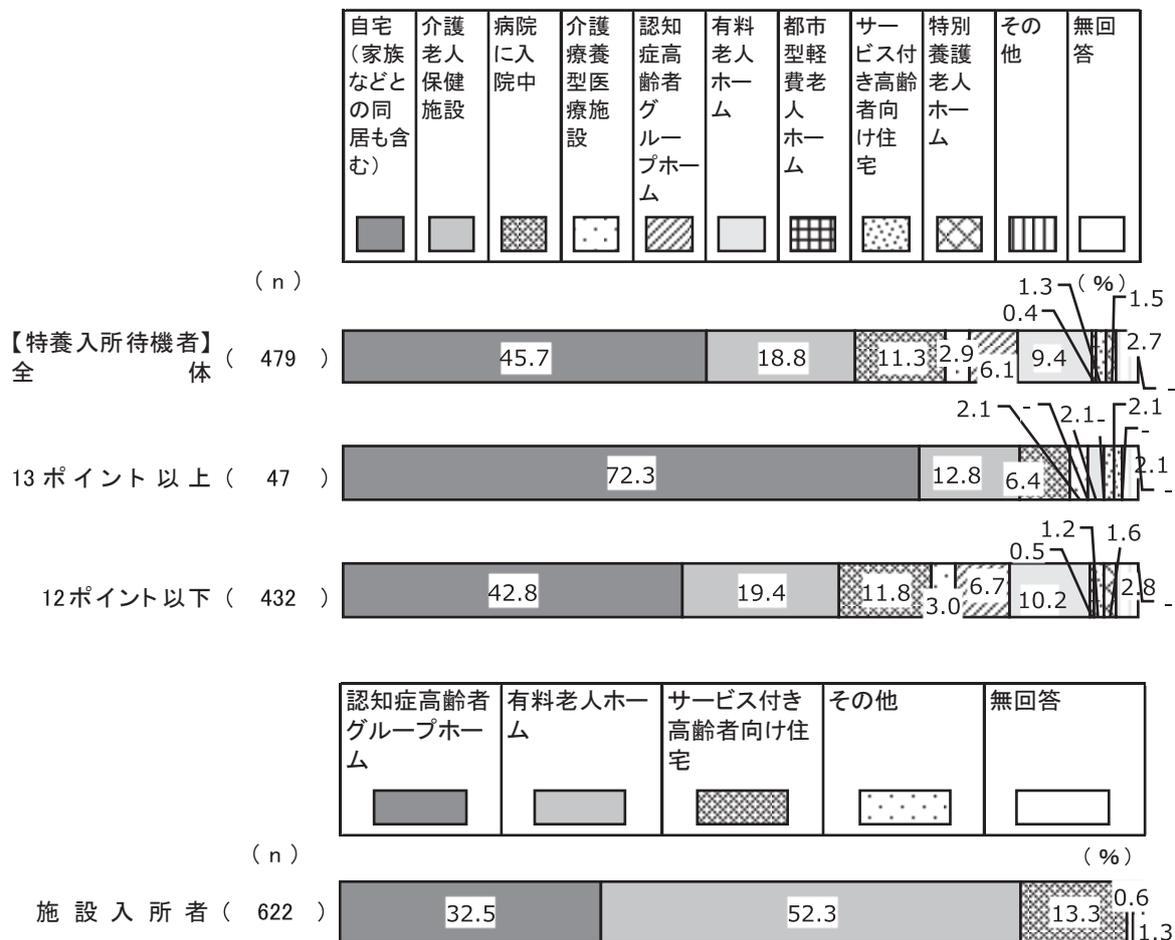
10 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

(1) 現在の生活場所

○特養入所待機者では、「自宅（家族などとの同居も含む）」が最も高く 45.7%となっている。

○施設入所者では、「認知症高齢者グループホーム」が 32.5%、「有料老人ホーム」が 52.3%、「サービス付き高齢者向け住宅」が 13.3%となっている。

■現在の生活場所

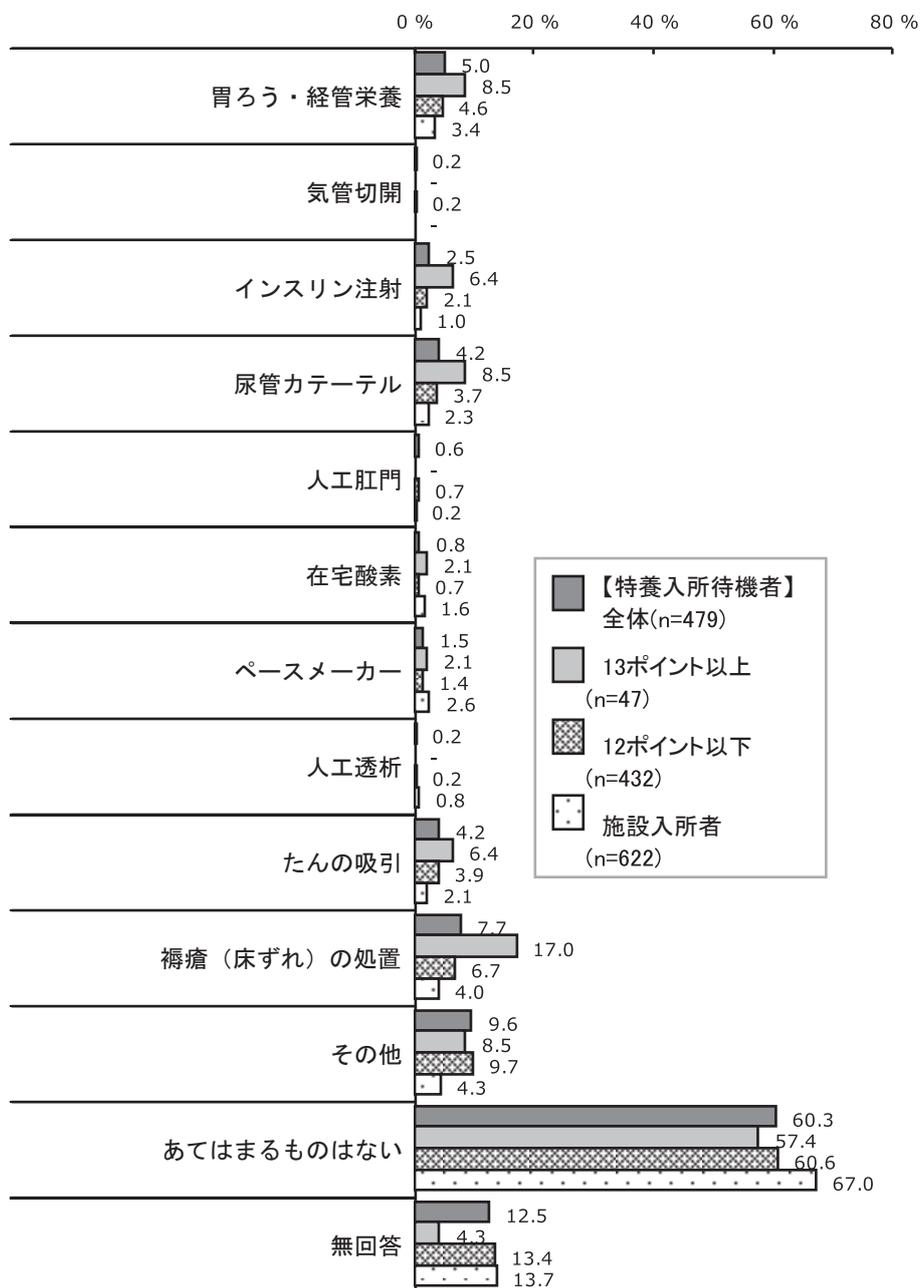


(2) 医療処置の状況

○医療処置の状況で「あてはまるものはない」は、特養入所待機者が約6割、施設入所者が7割近くとなっている。

○医療処置が必要な場合は、「褥瘡(床ずれ)の処置」(特養入所待機者7.7%、施設入所者4.0%)、「胃ろう・経管栄養」(特養入所待機者5.0%、施設入所者3.4%)が挙げられている。

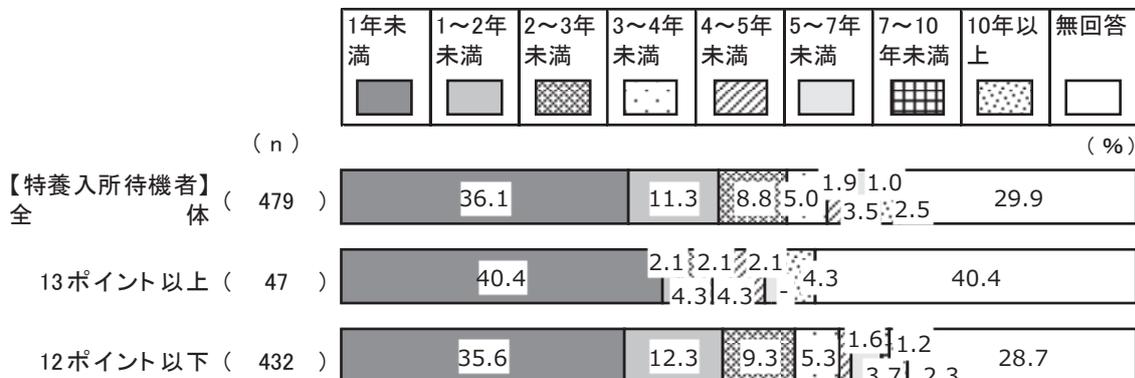
■医療処置の状況(複数回答)



(3) 最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数

○最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数は、「1年未満」が最も高く36.1%、「1～2年未満」(11.3%)、「2～3年未満」(8.8%)と回答した人も含めると、「3年未満」が5割半ばとなっている。

■最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数



※ 起算点は平成28年12月

【経年比較】

○平成25年度調査結果と比較すると、平成28年度は「1年未満」が3割半ばとなっている。

■最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの待機年数<特養入所待機者：経年比較>

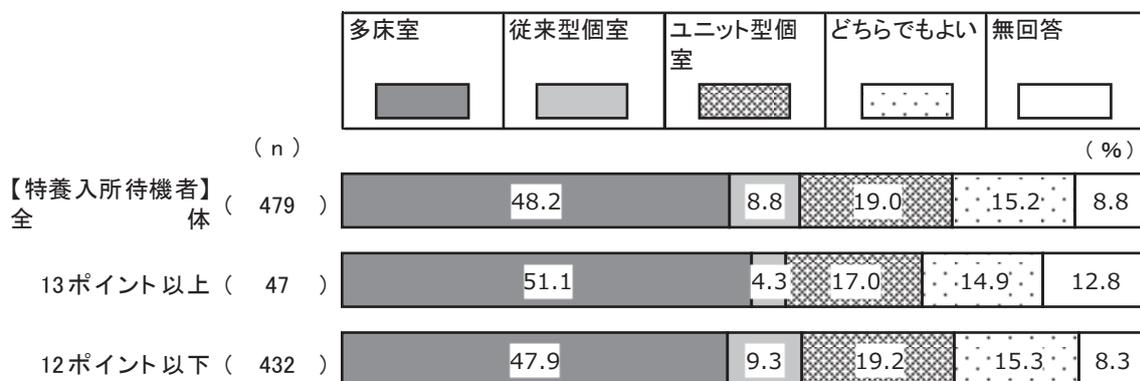
	n	満1年未満	年1未 ₂ 満	年2未 ₃ 満	年3未 ₄ 満	年4未 ₅ 満	年5未 ₇ 満	未17年	以10年	無回答
平成28年度	479	36.1	11.3	8.8	5.0	1.9	3.5	1.0	2.5	29.9
平成25年度	1,352	15.4	12.6	8.8	5.0	3.4	5.0	3.0	3.8	43.0

(4) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

① 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

○「多床室」が最も高く48.2%、次いで「ユニット型個室」が19.0%となっている。

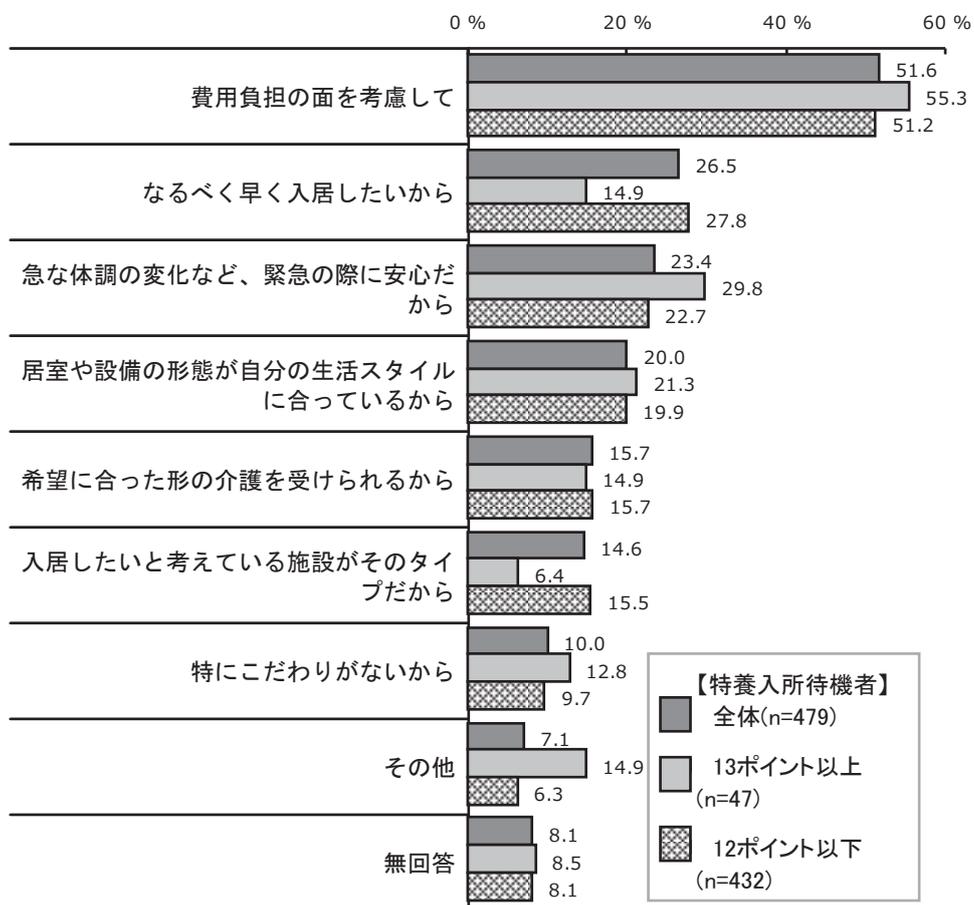
■入所したい特別養護老人ホームのタイプ



② 入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

○「費用負担の面を考慮して」が最も高く 51.6%、次いで「なるべく早く入居したいから」(26.5%)、「急な体調の変化など、緊急の際に安心だから」(23.4%)、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(20.0%)と続いている。

■入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由（複数回答）

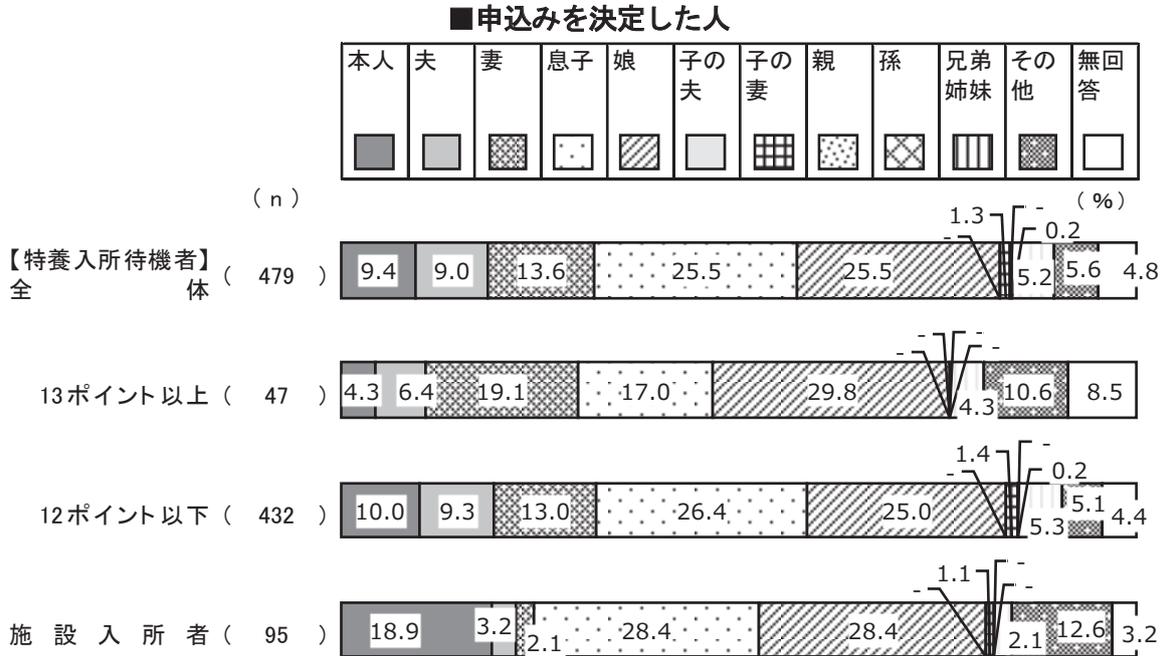


(5) 特別養護老人ホームの申込み状況

① 申込みを決定した人

○いずれの調査においても、「息子」「娘」が最も高く、両者を合わせた“子ども”が半数以上となっている。

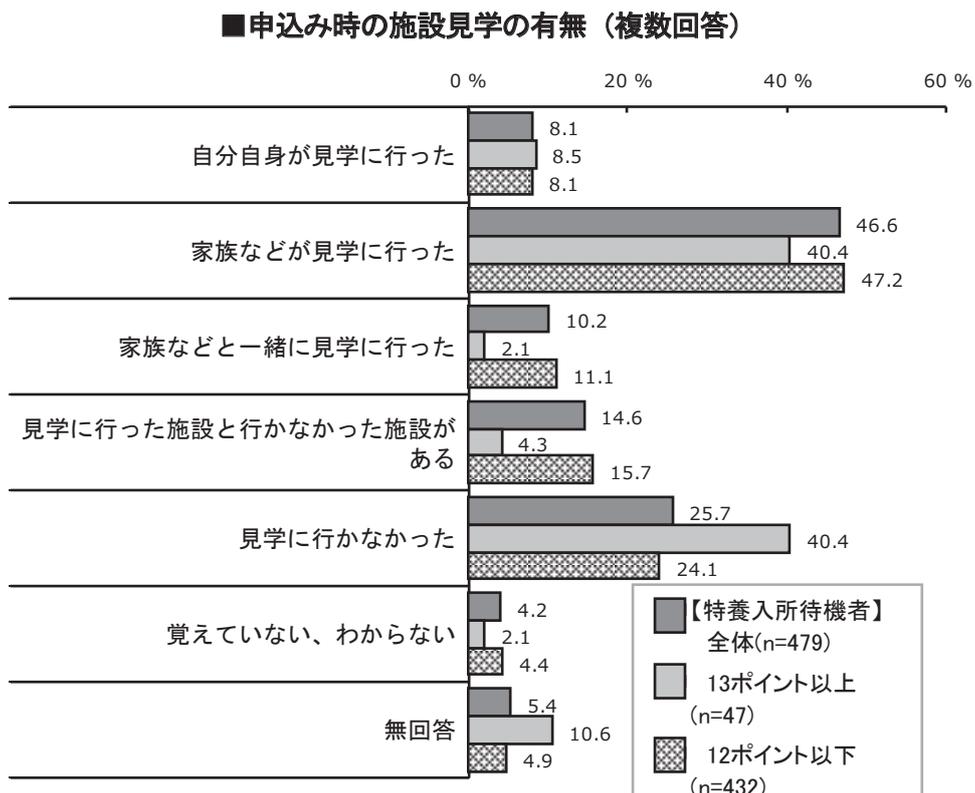
○「本人」は、特養入所待機者で1割未満、施設入所者で2割近くとなっている。



※ 施設入所者は特別養護老人ホームに入所申込みの経験のある方を対象とした

② 申込み時の施設見学の有無

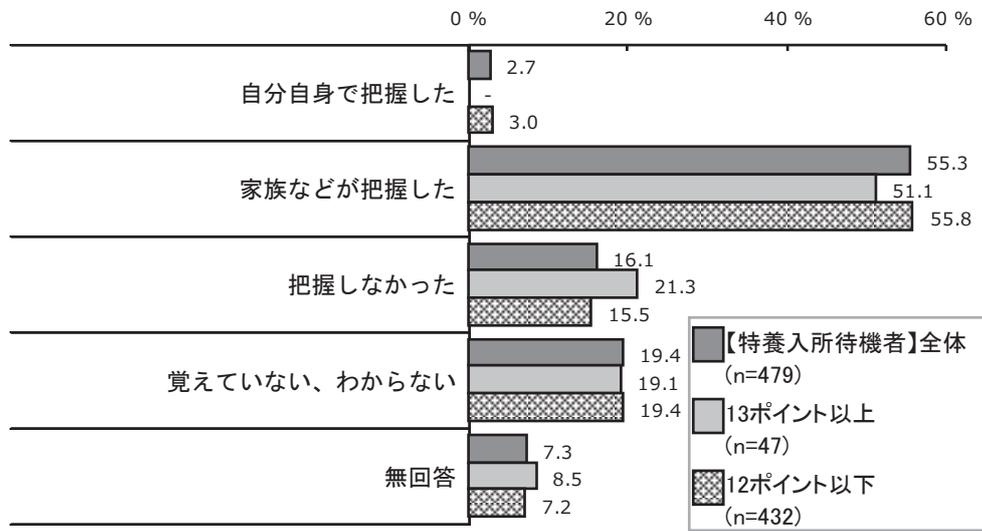
○「家族などが見学に行った」が最も高く 46.6%、次いで「見学に行かなかった」が 25.7%で続いている。



③ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握有無

- 「家族などが把握した」が最も高く55.3%となっている。
- 「把握しなかった」は1割半ばとなっている。

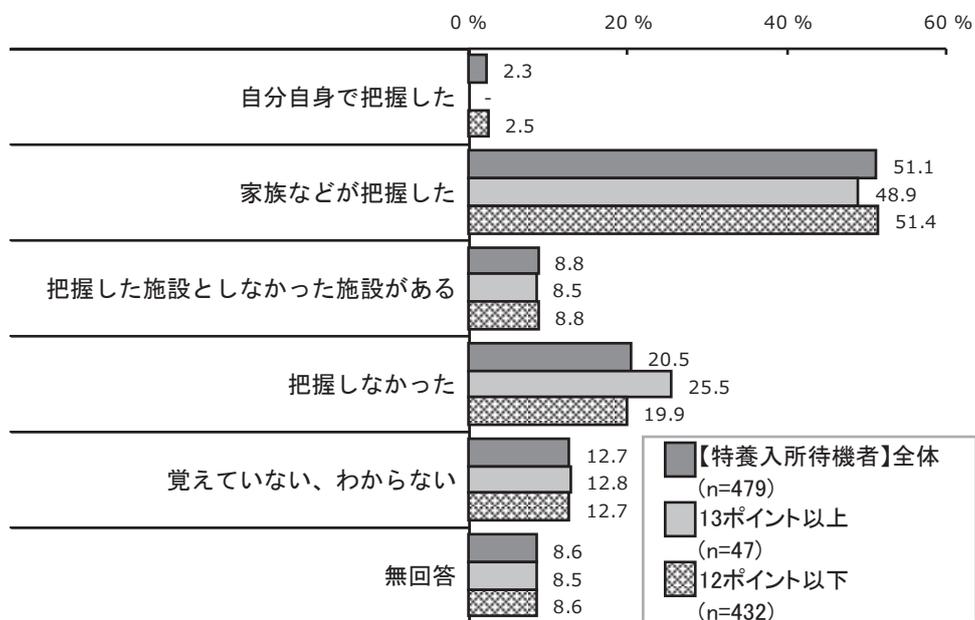
■ 「練馬区特別養護老人ホーム入所基準」の把握有無（複数回答）



④ 医療行為への対応状況の把握有無

- 「家族などが把握した」が最も高く51.1%となっている。
- 「把握しなかった」は約2割となっている。

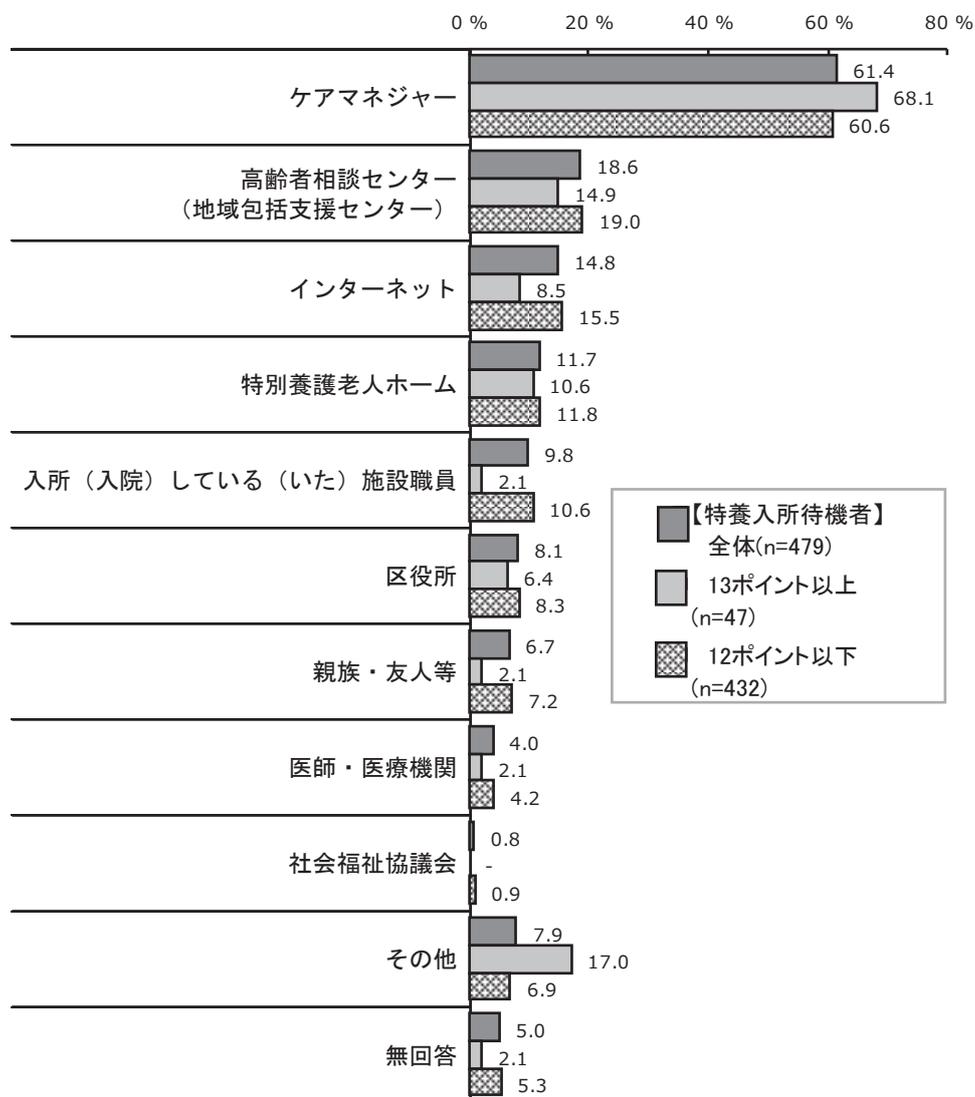
■ 医療行為への対応状況の把握有無（複数回答）



⑤ 入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路

○「ケアマネジャー」が最も高く61.4%、次いで「高齢者相談センター（地域包括支援センター）」が18.6%、「インターネット」が14.8%が続いている。

■入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路（複数回答）

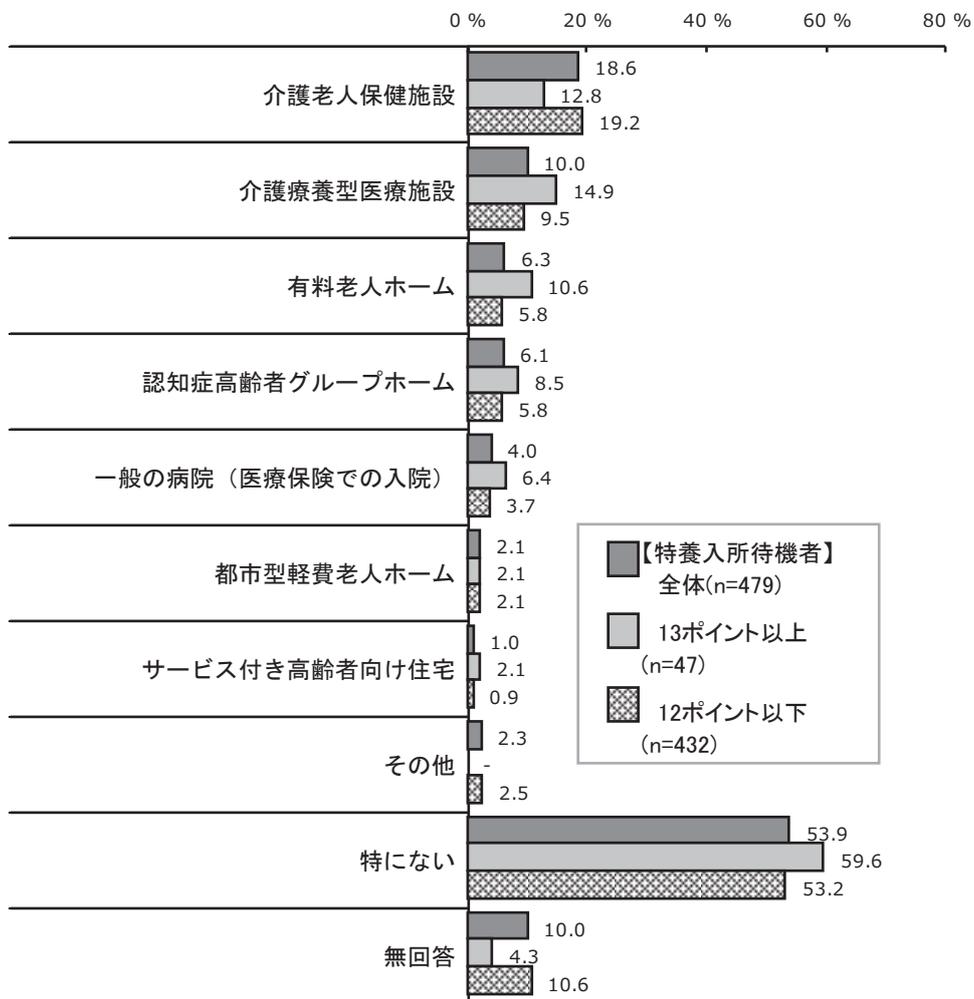


(6) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

① 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○「特にない」が5割を超えている。申込み先としては、「介護老人保健施設」が最も高く18.6%、次いで、介護療養型医療施設(10.0%)と続いている。

■特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況(複数回答)

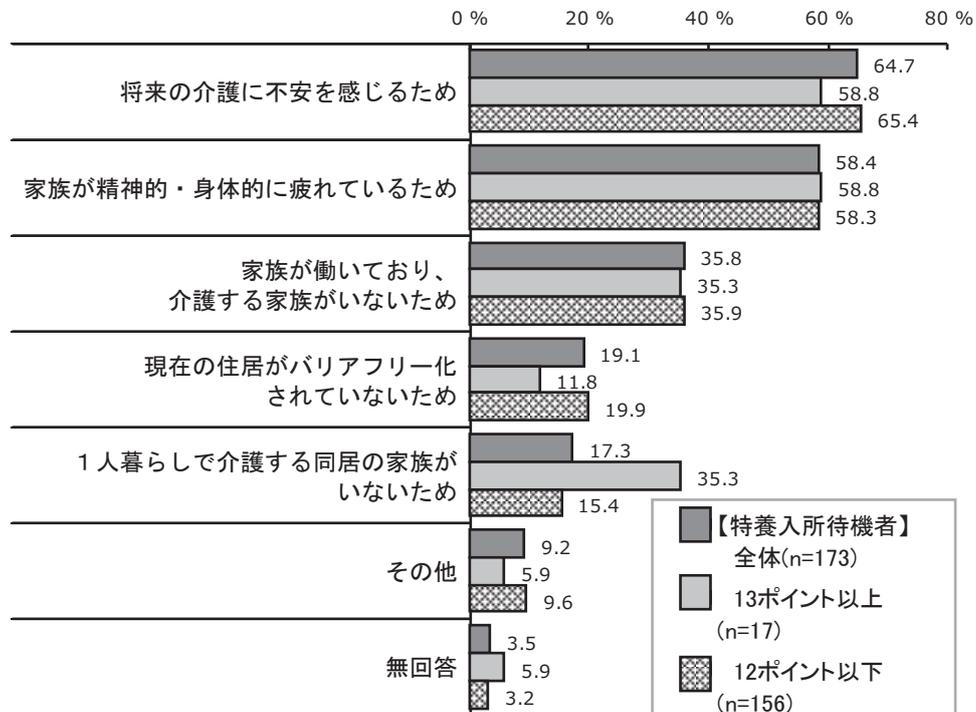


② 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由と特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

ア. 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で“特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設がある”と回答した人の特別養護老人ホーム以外の施設を利用したい理由は、「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く 64.7%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が 58.4%で続いている。

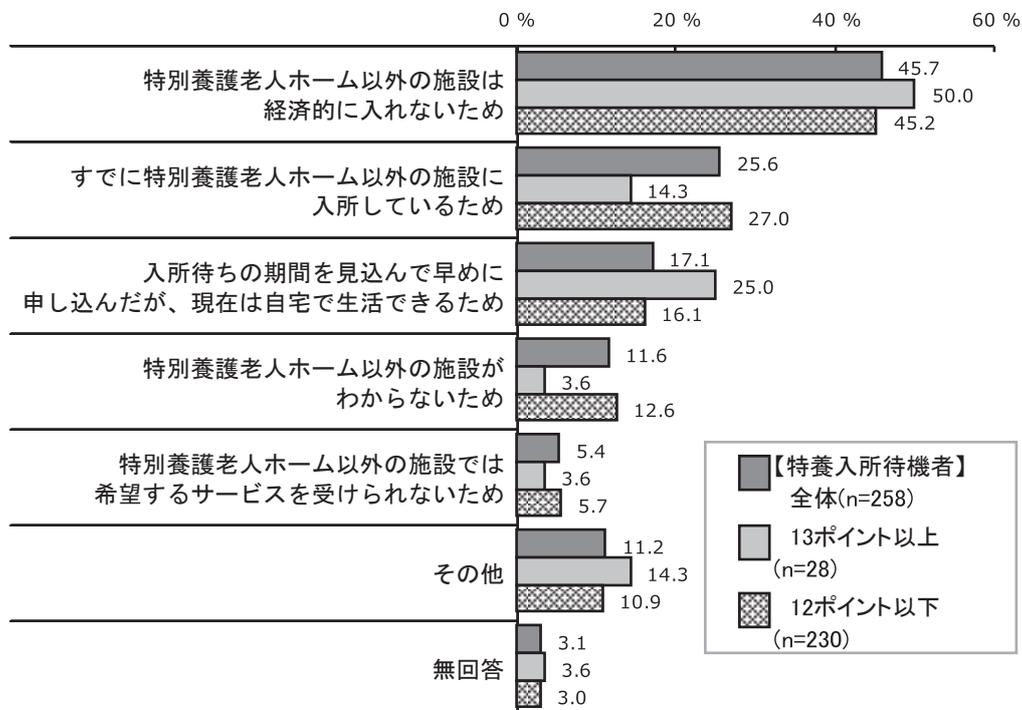
■特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由（複数回答）



イ. 特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」が最も高く 45.7%、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」が 25.6%で続いている。

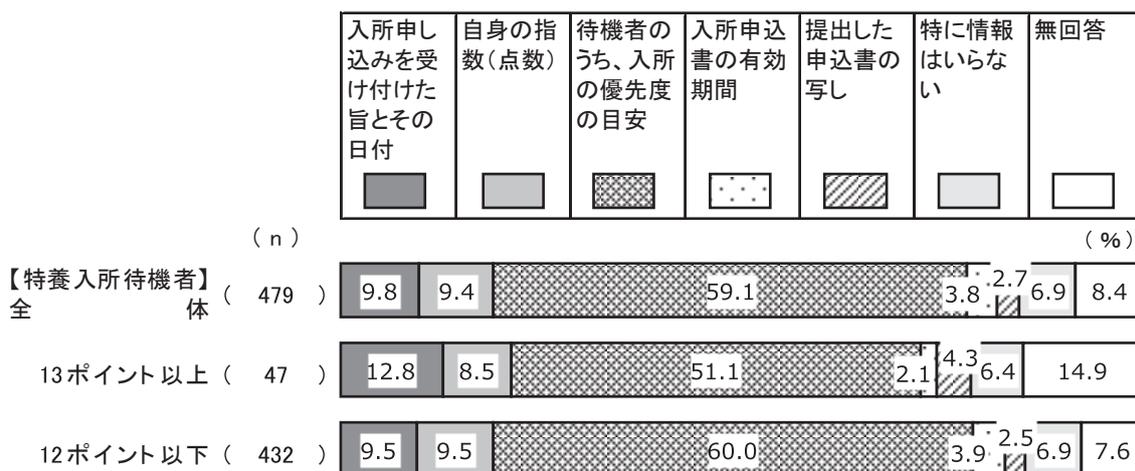
■特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由（複数回答）



(7) 入所申し込み後に欲しい情報（連絡）

○「待機者のうち、入所の優先度の目安」が最も高く 59.1%となっている。

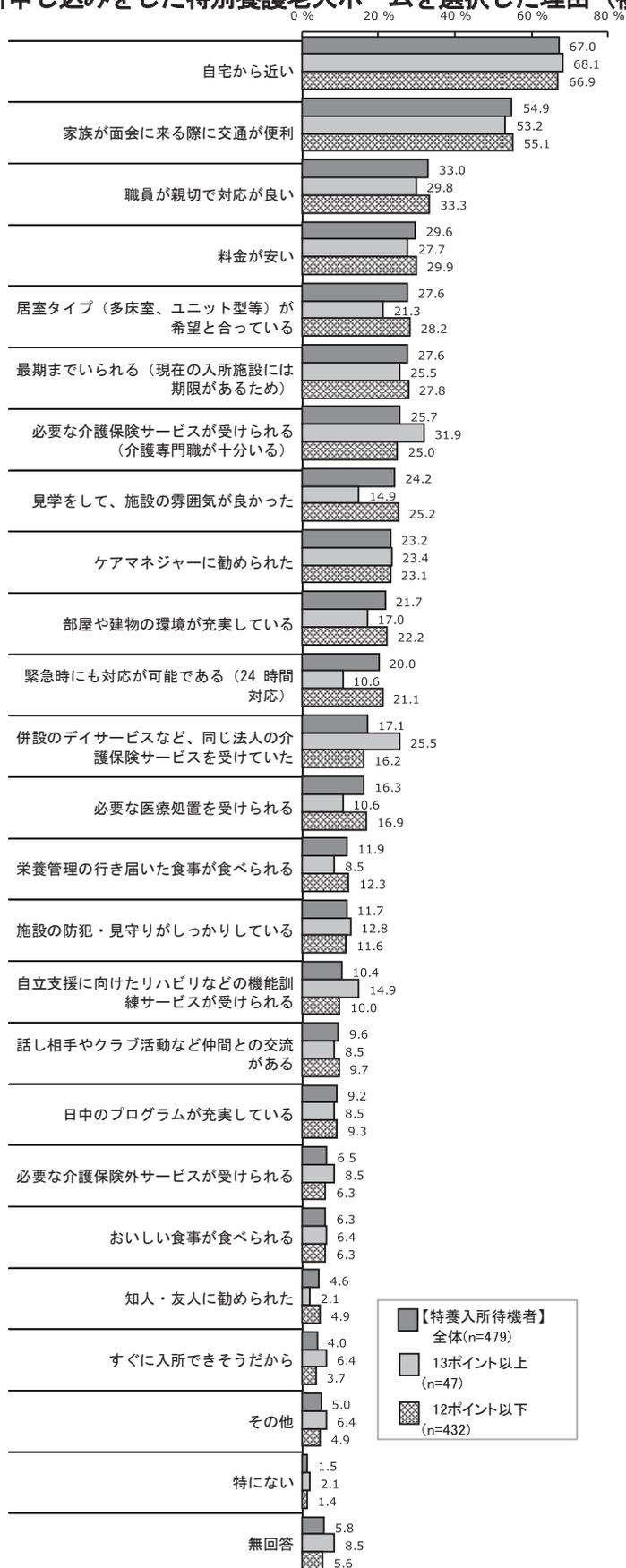
■入所申し込み後に欲しい情報（連絡）



(8) 入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由

○「自宅から近い」が最も高く67.0%、次いで「家族が面会に来る際に交通が便利」が54.9%、「職員が親切で対応が良い」が33.0%で続いている。

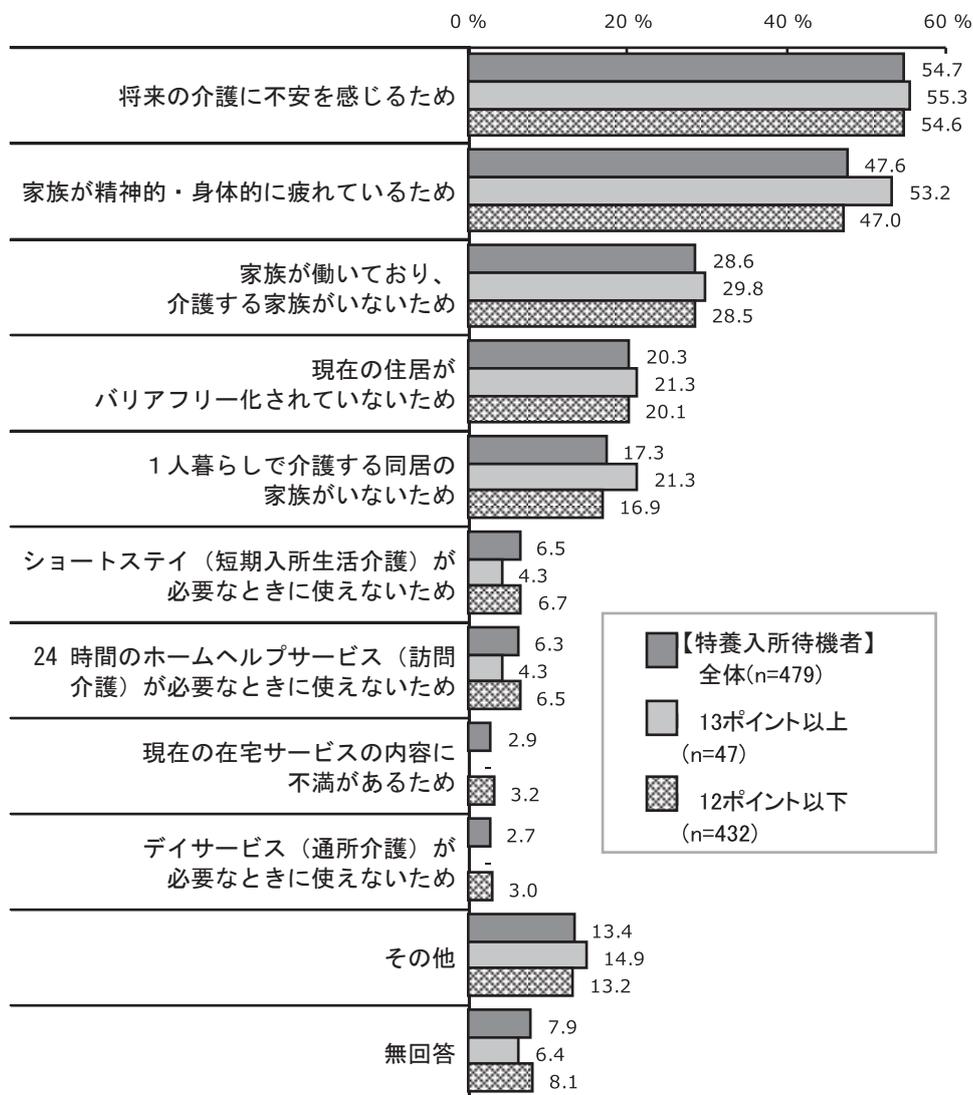
■入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由（複数回答）



(9) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由

○「将来の介護に不安を感じるため」が最も高く 54.7%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が 47.6%、「家族が働いており、介護する家族がいないため」が 28.6%と続いている。

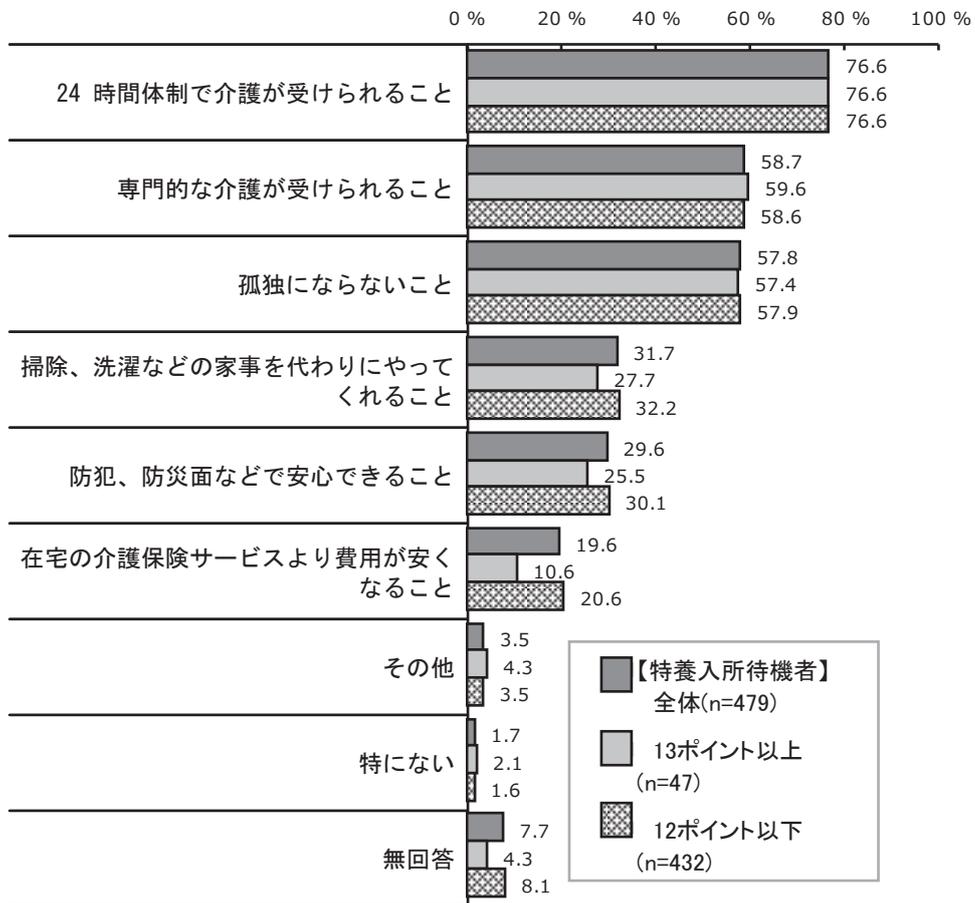
■特別養護老人ホームを申し込んだ理由（複数回答）



(10) 特別養護老人ホームに期待すること

○「24 時間体制で介護が受けられること」が最も高く 76.6%、次いで「専門的な介護が受けられること」が 58.7%、「孤独にならないこと」が 57.8%と続いている。

■特別養護老人ホームに期待すること（複数回答）

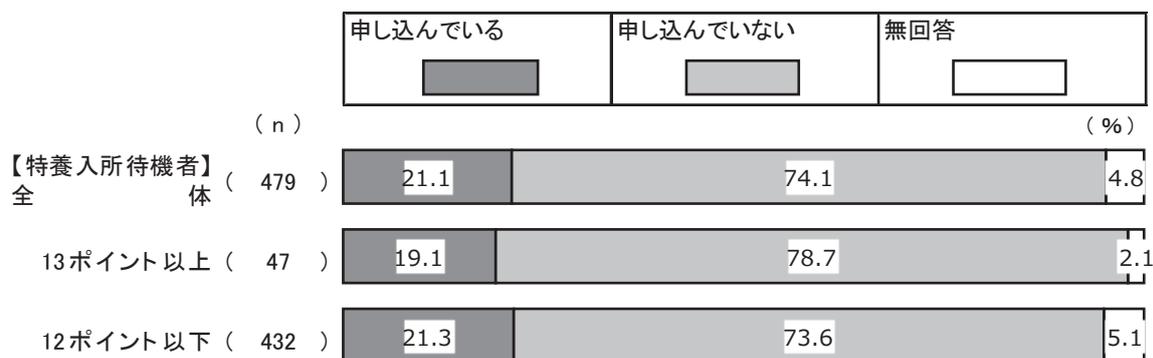


(11) 区外の特別養護老人ホーム入所申込み状況

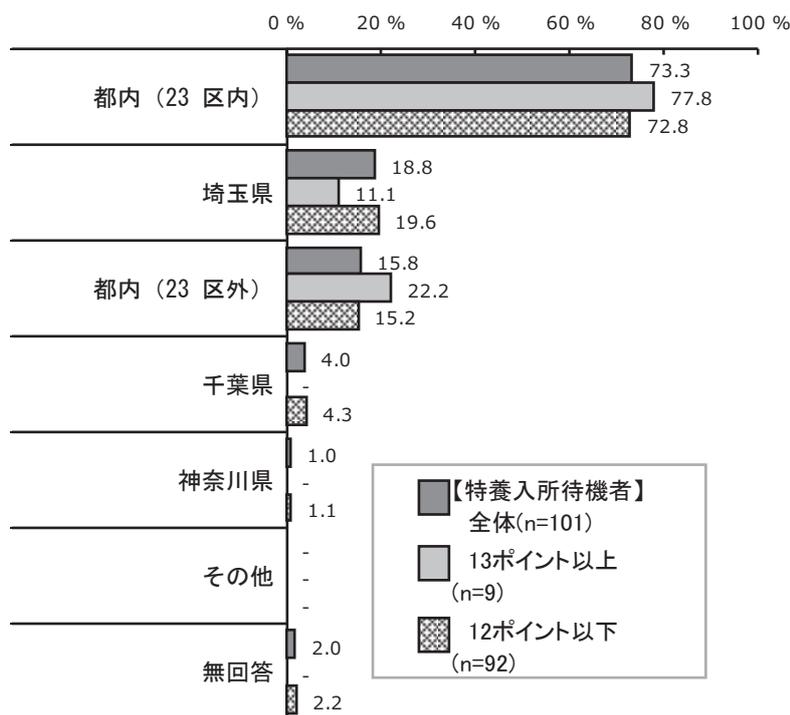
① 区外特養の入所申込みの状況

- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」人は 21.1%、「申し込んでいない」人は 74.1%となっている。
- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内（23区内）」が最も高く 73.3%、次いで「埼玉県」が 18.8%、「都内（23区外）」が 15.8%と続いている。

■区外の特別養護老人ホーム入所申込みの状況



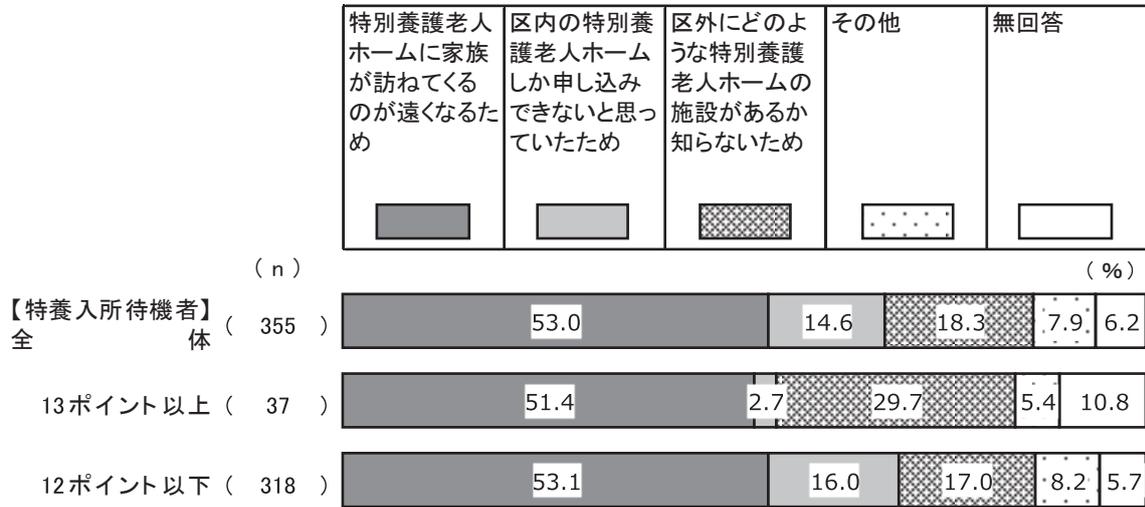
■申し込んでいる特別養護老人ホームの場所（複数回答）



② 区外特養に申し込まない理由

○区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいない」と回答した人の申し込まない理由は、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」が最も高く 53.0%となっている。「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」は 18.3%となっている。

■区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由



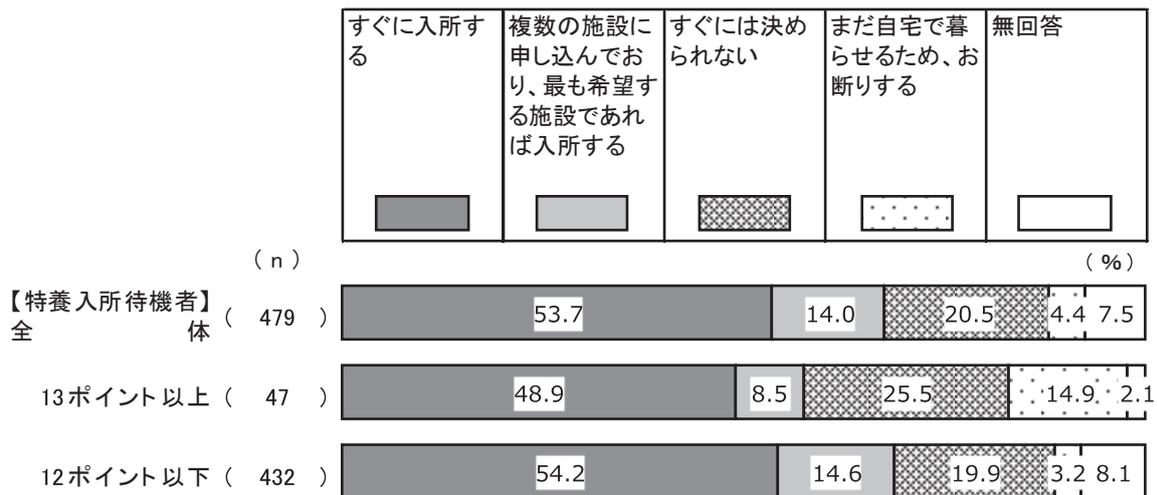
(12) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

① 連絡がきた場合の対応

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」が 53.7%で最も高く、「複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する」(14.0%)とあわせ、入所に積極的な人が7割近くとなっている。

○「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は2割半ばとなっている。

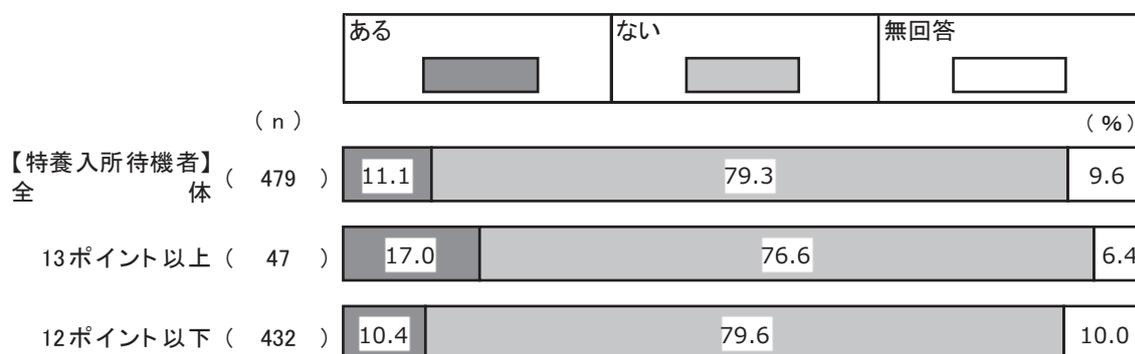
■連絡がきた場合の対応



② 入所案内の連絡を辞退した経験

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡があった際に断った経験が「ある」は11.1%、「ない」は79.3%となっている。

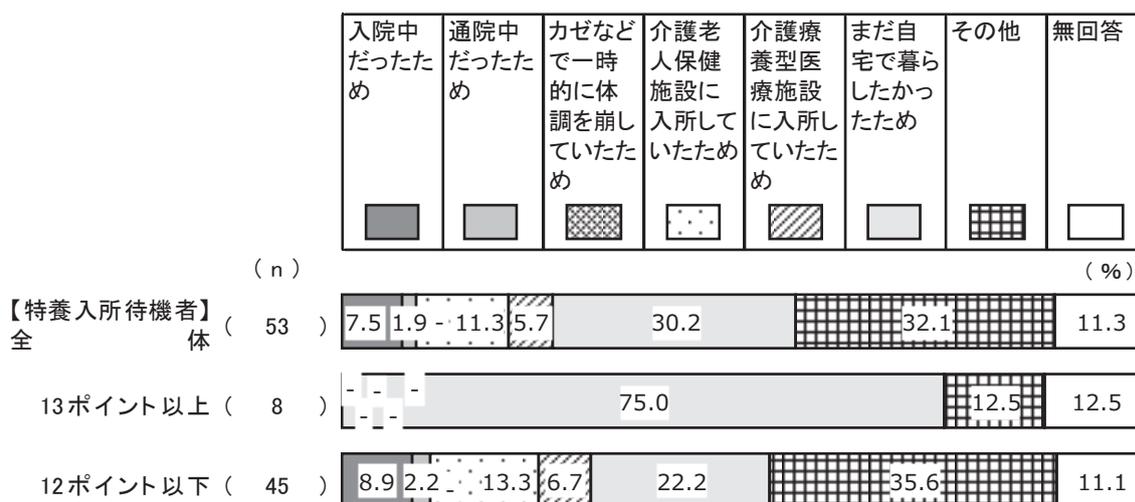
■入所案内の連絡を辞退した経験



③ 辞退した理由

○“入所辞退の経験がある”と回答した人の辞退した理由は、「まだ自宅で暮らしたかったため」が最も高く、30.2%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値とする）。

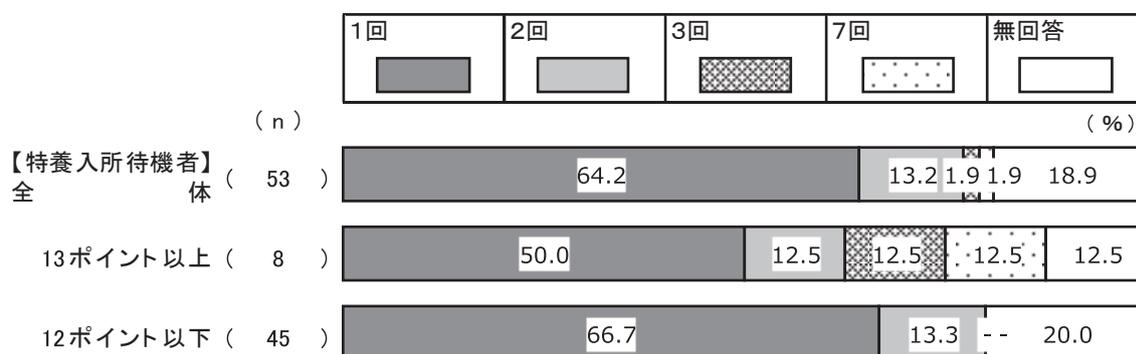
■辞退した理由



④ 辞退した回数

○“入所辞退の経験がある”と回答した人の入所辞退の回数は、「1回」が64.2%、「2回」が13.2%となっている（ただし、サンプル数が少ないため参考値とする）。

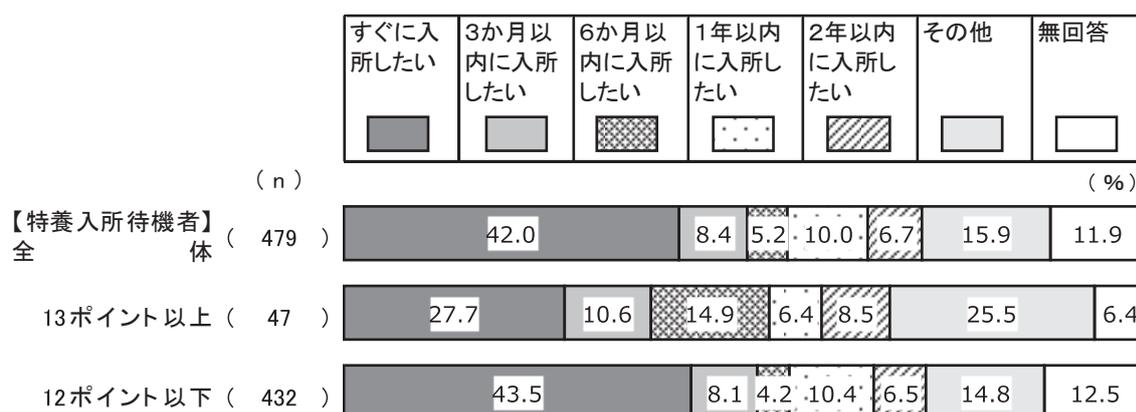
■辞退した回数



⑤ 入所の希望時期

○入所の希望時期は「すぐに入所したい」が最も高く42.0%となっている。

■入所の希望時期

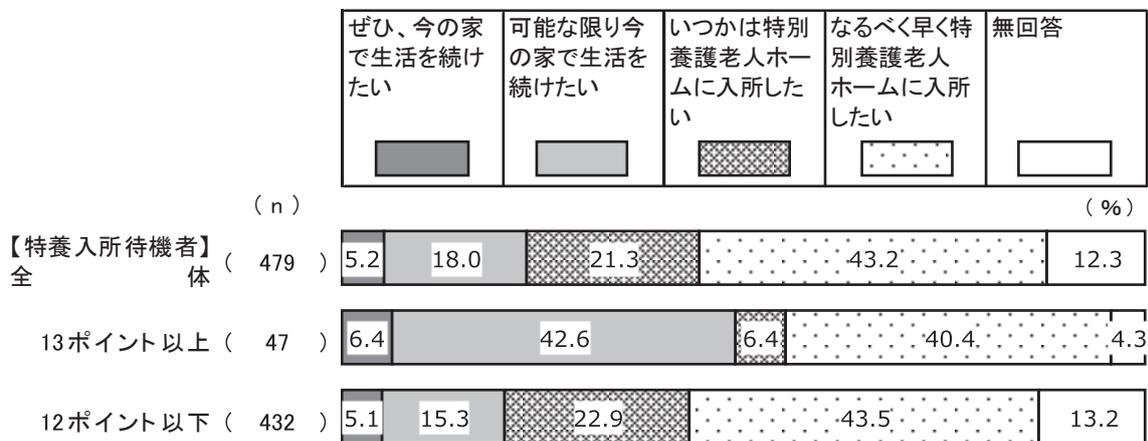


(13) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

① 在宅生活の継続希望

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」と「可能な限り今の家で生活を続けたい」「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」を合わせた“当分は在宅生活を継続する”は4割半ばで、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」と同程度となっている。

■在宅生活の継続希望



【参考：経年比較】

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」と「可能な限り今の家で生活を続けたい」を合わせると、平成25年度は20.6%であるのに対し、平成28年度は23.2%となっている。

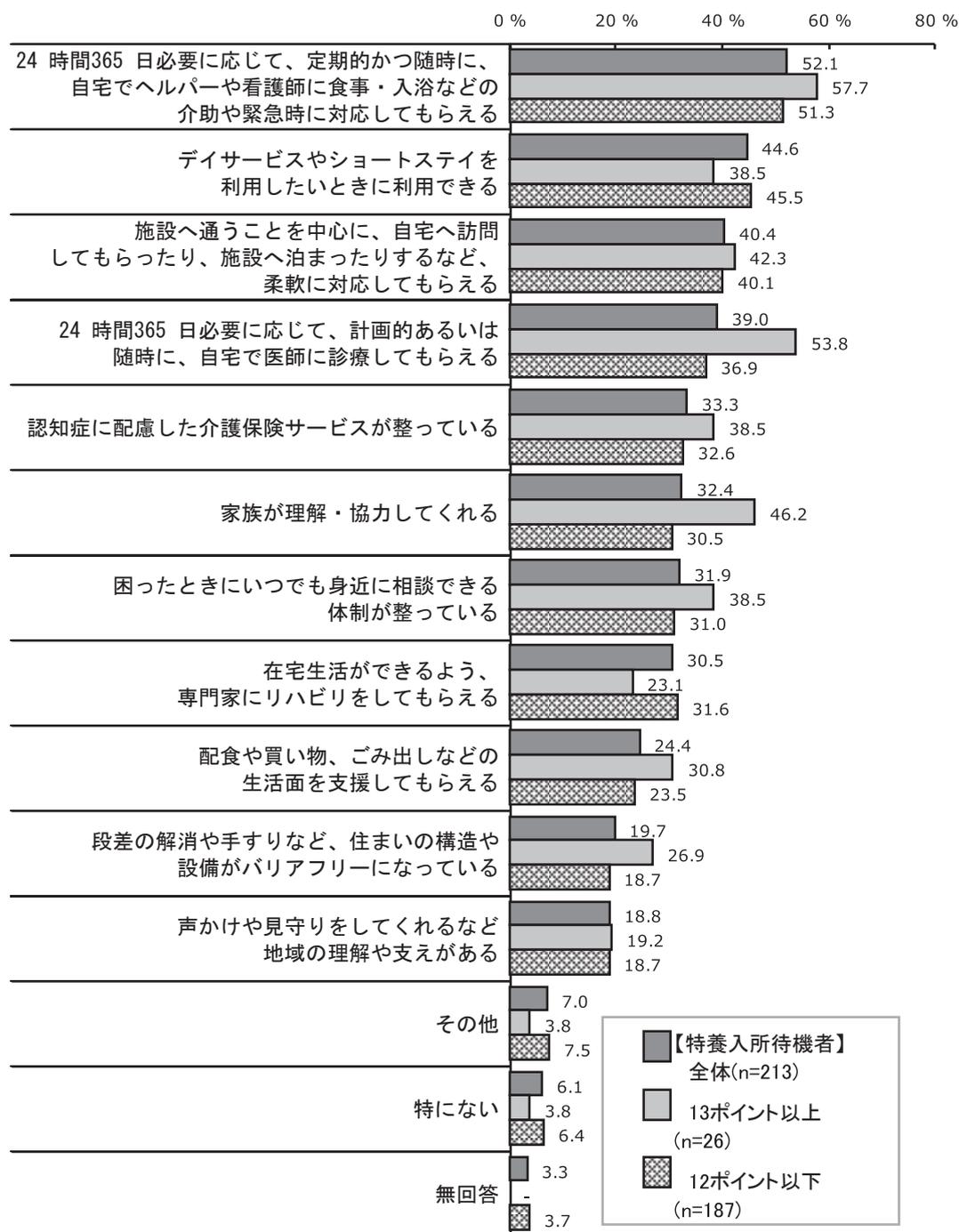
■在宅生活の継続希望<特養入所待機者：経年比較>

	n	をぜひ、今の家で生活を続けたい	可能な限り今の家で生活を続けたい	いつかは特別養護老人ホームに入所したい	なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい	無回答	
平成28年度	479	5.2	18.0	21.3	43.2	12.3	
平成25年度	1,352	3.8	16.9	24.6	6.4	28.3	20.0

② 在宅生活を継続できる在宅サービス

- “当分は在宅生活を継続する”と回答した人の在宅生活を可能にすると思うサービスは、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」が最も高く52.1%、次いで、「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(44.6%)、「施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる」(40.4%)と続いている。

■在宅生活を継続できる在宅サービス（複数回答）

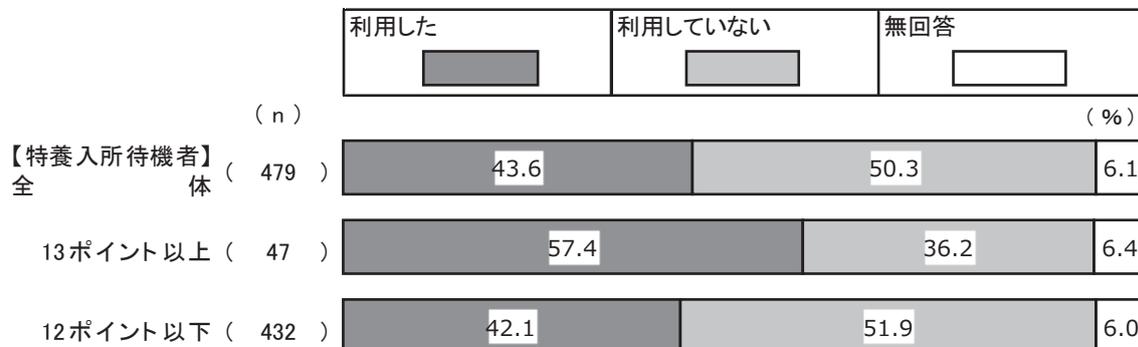


(14) ショートステイの利用状況

① 過去1年間のショートステイの利用状況

○平成27年12月～平成28年11月の過去1年間にショートステイを「利用した」が43.6%、「利用していない」が50.3%となっている。

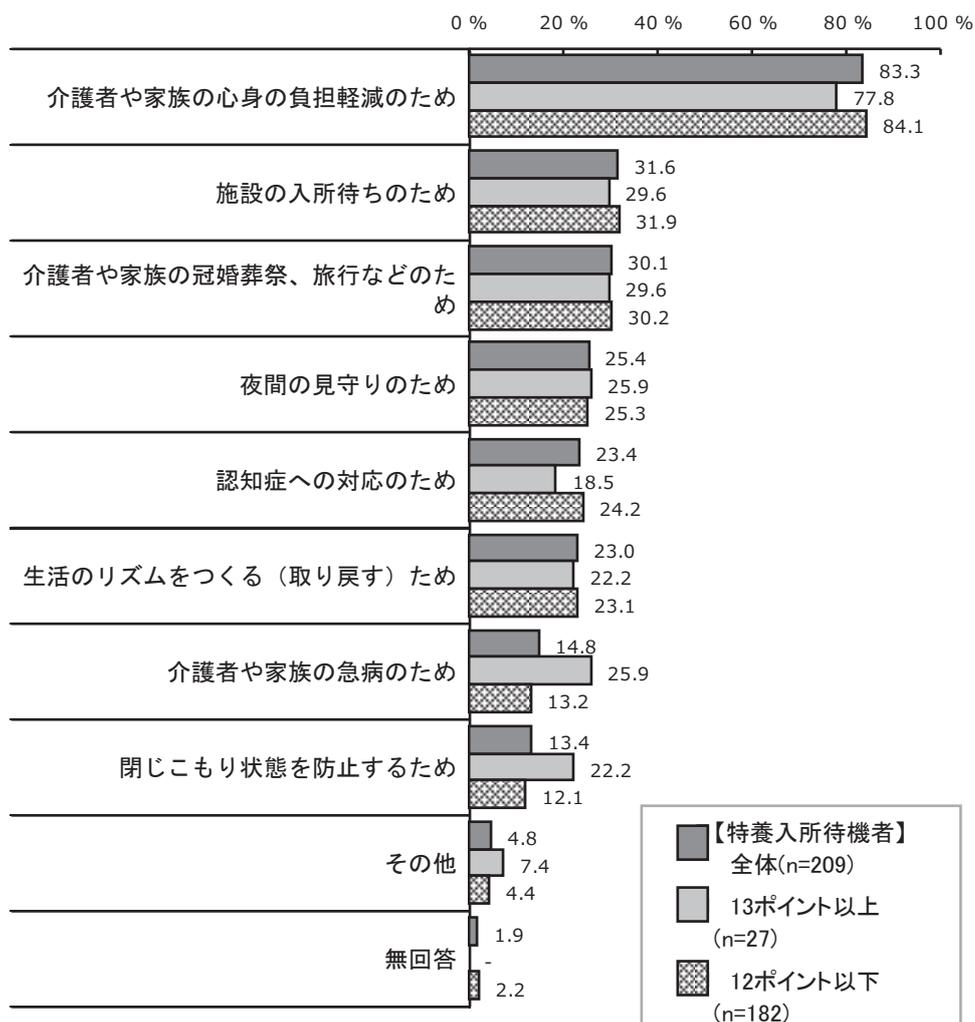
■過去1年間のショートステイの利用状況



② ショートステイの利用目的

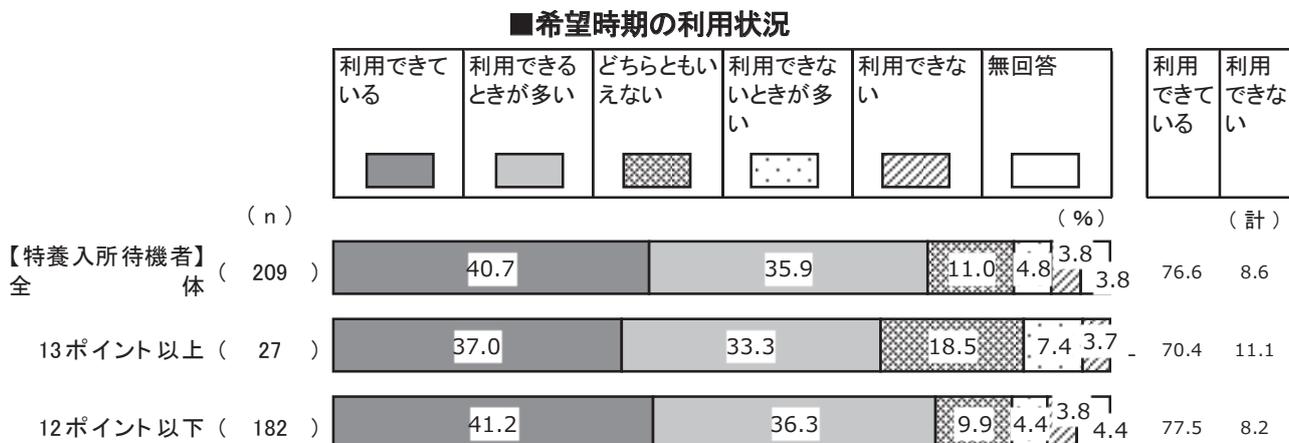
○“過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の利用目的は、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」が最も高く83.3%となっている。

■利用目的（複数回答）



③ 希望している時期の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望している時期の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が76.6%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないことが多い」の合計）を大きく上回っている。



④ 希望施設の利用状況

○ “過去1年間にショートステイを利用した”と回答した人の希望施設の利用状況は、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が78.5%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないことが多い」の合計）を大きく上回っている。

